

半導体製造に使用される現像液の回収・再生の事業を行う新工場を開設
2025年度中の量産開始を目指す

長瀬産業株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：上島 宏之、以下「長瀬産業」）、ナガセケムテックス（大阪市西区、代表取締役社長：藤井 悟、以下「ナガセケムテックス」）、Sachem Inc (President/CEO Rosemary Hoffman) の合弁会社である SN Tech Corporation（以下「SN Tech」）は、半導体製造に必要な高純度現像液の回収・再生事業（※1）を行う新工場「SN Tech 東大阪第二工場」を東大阪市に開設しました。本事業は、半導体製造に使用される高純度現像液（テトラメチルアンモニウムヒドロキシド：通称 TMAH）の回収・再生を行うもので、使用済み TMAH を回収・再生し、販売する国内初の事例です。2025年度中の量産稼働開始を見込んでいます。

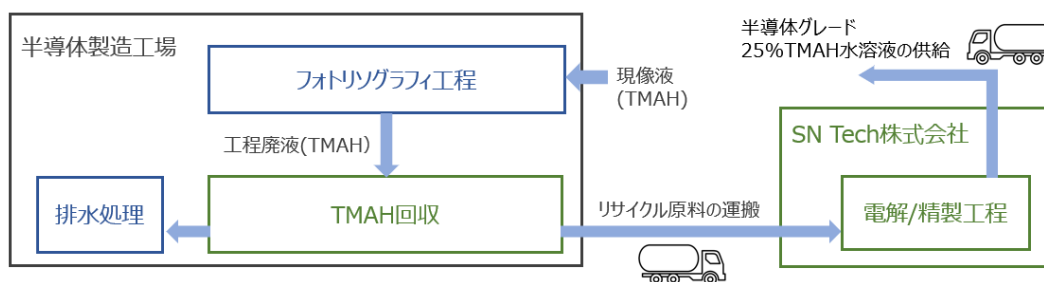
長瀬産業は中期経営計画 ACE 2.0 の成長ストーリーにおいて「基盤」「注力」「育成」「改善」の4つの領域を掲げ、商社、製造、研究開発の各機能を軸に事業を展開しています。今回の新工場設立は、注力領域である半導体分野における製造機能への取り組みの一環にあたります。

取り組みの背景

半導体チップの製造工程は、シリコンウェハに回路を形成する前工程と、回路が形成されたシリコンウェハを半導体チップとして組み立てる後工程に分かれています。前工程におけるフォトリソグラフィ工程では、回路形成時に極めて高純度な現像液（TMAH）が必要となります。一方で、TMAH の再生には高度な電解・精製技術を要することから回収・再生による再利用は困難とされ、半導体製造事業において環境負荷や収益面での課題となっていました。SN Tech は、2008 年から液晶パネルの製造で使用される TMAH の回収・再生事業を通じて培った電解・精製技術やノウハウを使い TMAH の再利用に取り組んでいます。

新工場の稼働について

新工場は TMAH の製造・高純度化を行う電解設備、精製設備を有しており、半導体工場から回収する再生原料を基に TMAH に再生させる半導体用現像液のリサイクルが可能となります。2025 年度中に量産稼働を開始する予定です。本事業を通じた半導体製造工場の TMAH や水の再利用と安定調達、エネルギー削減により、コスト競争の激化が続く半導体事業における収益性改善と、世界中の企業が対応を迫られている持続可能な環境配慮ビジネスモデルの構築に取り組めます。国内のみならず海外に向けての展開も視野に入れ、半導体関連事業の拡大を目指します。



NAGASE グループは、ものづくりの課題を素材（マテリアル）で解決することを通じて、人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会の実現に貢献してまいります。

SN Tech 東大阪第二工場 概要

所在地：大阪府東大阪市

敷地面積：2,603m²

設備：TMAH 製造設備、TMAH 高純度化設備

製造品目：高純度 TMAH、グリーン TMAH（再生 TMAH）

※1：2023年11月27日プレスリリース[国内初・半導体製造に使用される現像液の回収・再生の事業化](#)

■長瀬産業 概要

- ・社名：長瀬産業株式会社
- ・本社所在地：東京都千代田区
- ・代表者：代表取締役社長 上島 宏之
- ・事業概要：化学品、合成樹脂、電子材料、化粧品、健康食品等の輸出・輸入及び販売
- ・URL：<https://www.nagase.co.jp/>

■ナガセケムテックス概要

- ・社名：ナガセケムテックス株式会社
- ・本社所在地：大阪市西区
- ・代表者：代表取締役社長 藤井 悟
- ・事業概要：エポキシ樹脂変性品等の高機能樹脂、フォトリソグラフィ用材料、エピクロルヒドリン誘導体、アクリルポリマー、導電塗料、殺菌・抗菌剤の製造販売
- ・URL：<https://www.nagasechemtex.co.jp/>

■Sachem Inc 概要

- ・社名：SACHEM, Inc.
- ・代表者：President/CEO Rosemary Hoffman
- ・事業概要：半導体用 高純度ケミカル製造
- ・URL：<https://www.sacheminc.com/>

◆本件に関するお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 <https://www.nagase.co.jp/>

<事業に関するお問い合わせ>

先進機能材料事業部 精密プロセス部 TEL：03-3665-3284

<報道に関するお問い合わせ>

経営管理本部 コーポレートリレーション部 PR 課 TEL：03-4818-9416